

マリンビジョン女性交流会議 かわら版

第16号 2022年12月発行



マリンビジョン女性交流会議かわら版では、交流会議の活動内容、地域での活動内容、新しい情報などをお伝えします。皆さんで知恵を出し合って、活動の輪を広げていきましょう！

令和4年度 MV 女性交流会議が開催されました！

開催概要

【出席者】

中央大学研究開発機構教授 片石温美委員長をはじめ、北海学園大学開発研究所長 濱田武士委員、7名の女性委員、各地域のオブザーバーが出席しました。

【概要】

今回は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、対面及びWEB会議形式を併用しての開催となりました。

会議では“海業振興”をテーマとし、海業に関する先進的な取り組みを実施している歯舞漁業協同組合 中村直樹常務理事によるご講演、及び各地域の海業に関する取組状況や今後の展望について討議を行いました。

また、翌日は今年供用開始したばかりの歯舞漁港新施設（人工地盤、漁協施設）において現地視察を実施し、委員・オブザーバーあわせて9名が参加しました。

【主催者挨拶】

会議の冒頭、主催者を代表して北海道開発局農業水産部の細井俊宏部長よりご挨拶いただきました。マリンビジョン女性交流会議はこれまで北海道マリンビジョン21の具現化を図るため、女性の視点から地域マリンビジョンの強化や充実化に向けて様々な議論が重ねられ、漁村地域の活性化に寄与してきたこと、また、海業の推進にあたり女性ならではの活発なご意見をいただき、本会議を通じて地域間の交流や新たな取り組みが展開されることを期待しているとお話しいただきました。

以下に、会議の内容を一部抜粋してご紹介します。

会議名：令和4年度マリンビジョン女性交流会議
日時：令和4年10月25日(火) 14:00~17:00
開催形式：対面及びWEB会議形式

【委員名簿】

	氏名	所属・役職
委員長	片石 温美	中央大学研究開発機構 教授（客員）
委員	太田 美香	遠別漁業協同組合 女性部長
委員	米森 みゆき	北るもい漁業協同組合 苫前支所 女性部長
委員	木村 都久子	有限会社マルベリー（現地スタッフ）
委員	阿部 尚子	福島吉岡漁業協同組合 福島地区女性部長
委員	北川 洋子	室蘭漁業協同組合 女性部長
委員	松本 真紀	いぶり中央漁業協同組合 虎杖浜地区女性部長
委員	高野 恵里子	ひだか漁業協同組合 三石地区女性部長
委員	川村 真弓	大津漁業協同組合 女性部長
委員	堀 陽子	厚岸漁業協同組合 女性部長
委員	山形 由紀子	落石漁業協同組合 女性部長
委員	櫻田 厚子	歯舞漁業協同組合 女性部長
委員	松田 真弓	羅臼漁業協同組合 女性部長
委員	畠山 美佐	ウトロ漁業協同組合 女性部長
委員	川口 睦子	常呂漁業協同組合 女性部長
委員	佐野 美香	雄武漁業協同組合 女性部長
委員	濱田 武士	北海学園大学 開発研究所長
主催者 委員	的野 博行	北海道開発局農業水産部 水産課長



片石委員長



細井部長



会議の様子

講演「マリンビジョンの取組と新施設の建設までの歩み」

歯舞漁業協同組合 中村直樹常務理事

海業に関する先進的な取り組みを行っている歯舞地域の取り組みについて、歯舞漁業協同組合 中村直樹常務理事より「マリンビジョンの取組と新施設の建設までの歩み」と題しご講演いただきました。

【歯舞マリンビジョンの取り組み】

「最東端の海からのメッセージ」をキャッチフレーズに、“歯舞水産物のブランド化”、“つくり育てる漁業”、“地域の衛生環境活動”、“都市との漁村交流”、これら4つの専門分野に分かれて活動を展開している。

<主な取り組み>

○**歯舞水産物のブランド化**…「はぼまい昆布しょうゆ」は平成2年に地域団体商標を取得。また、22の漁業部会が「1部会1品運動」で“一本立ち歯舞さんま”や“金たこ”などを商標登録。

○**都市漁村交流活動**…「漁民泊」では高校生などが民泊し、地元の魚を食べたり、えびかご漁などを体験。

○**地元催事**…こんぶ祭り、おさかな祭りを開催。昆布そば・うどん、タラ鍋などの人気商品は、女性部が中心となり準備している。

○**渚泊**…漁民泊、市場見学、子供たちの地引網体験、コンブ体験等をビジネスとして渚泊に位置付け、将来的な地域の所得向上を目指している。

○**北海道マリンビジョン21コンテスト**…平成20年から6回の最高優良賞を受賞した活動が実を結び、新施設建設へ繋がったと感じている。

【歯舞漁協新施設建設までの経緯】

○**会議等**…平成16年11月『衛生管理型漁港づくり検討委員会』を発足し、歯舞漁港における衛生管理方針について検討を始める。その後、数十回にわたる調整会議や衛生管理講習会を重ね、検討を続けた。

○**現地視察**…高度衛生管理型市場が整備されている岩手県大船渡市場、宮城県石巻魚市場、愛媛県八幡浜漁港等、防災施設が整備されている静岡県由比漁港を視察し、当施設の設計に活かした。

【新施設について】

○**施設の概要**…国の直轄事業による人工地盤に、“衛生管理機能”、“防災・減災機能”、“水産物流通機能”、“都市漁村交流機能”を持つ漁協施設が一体となった複合施設。漁協施設には、高度衛生管理型市場やセリ場に加え、海業支援施設、防災施設、一般見学スペースを設けている。

○**海業支援施設とは**…直販所店舗と昆布加工場、調理室を一体化。調理室はイベント時の調理スペースとして女性部が利用可能。

【今後について】

今、衛生管理を行うことは非常にポピュラーな話であり、『優良衛生品質管理市場漁港認定』を受けることが必要と考える。令和5年3月認定を目指して活動を続け、認定後はその内容について各地域マリンビジョン関係者と共有したい。



中村常務理事



話題提供「^{うみぎょう}海業の概要について」

北海道開発局農業水産部水産課 的野博行課長

続いて、海業（うみぎょう）の概要について、北海道開発局農業水産部水産課 的野博行課長よりご説明いただきました。

【海業とは】

新たな漁港漁場整備長期計画（令和4年3月閣議決定）の中で、「海業（うみぎょう）とは、**海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用**する事業であって、国内外からの多様なニーズに応えることにより、**地域のにぎわいや所得と雇用を生み出す**ことが期待されるもの」と定められている。



的野課長

例として、水産物の直売、漁家民宿、水産物加工、漁家レストラン、体験漁業、ホエールウォッチング、ダイビング、釣りなどがあり、現在、**開発局や各地域で取り組んでいるマリンビジョンそのものである。**

【海業振興の意義について】

漁村では全国平均を上回る速さで人口減少、高齢化が進み、活力低下がみられる一方、漁村の交流人口は年間約 2 千万人であり、「海業」は大きなポテンシャルを持っている。豊かな自然や漁村ならではの魅力を活かした「海業」の振興により、**地域の所得向上と雇用機会の確保**を図ることが必要。

【漁港へのニーズ多様化と期待】

漁港は漁村の中心であり、海業の拠点としての役割が期待されている。地域の交流促進施設やレジャー施設など、**海業の機能を集積し、さらに地域の漁業実態にあわせて施設の再編や整理**を行うことで、地域の水産業と共存共栄する「海業」の場にしたい。

【海業振興の成果目標】

- ・漁村の活性化により都市漁村交流人口を、おおむね **200 万人増加**させる
- ・漁港における新たな「海業」等の取組をおおむね **500 件展開**する
→「新たな」とあるが、地域マリンビジョンでこれまで取り組んできた活動でも**事業を拡大するものは対象**としてカウントできる。

各地域の活動状況について

各地域の活動状況、海業に関する地域の取り組みについて、各委員から報告していただきました。コロナ禍で活動が制限される中ではありますが、清掃活動や食育活動を通して地域に貢献する様子がみられました。



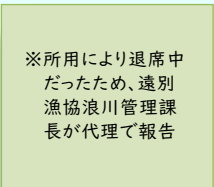
高野委員【三石】

- コロナ禍で食育活動はできていない。
- 女性部は高齢化に伴い定年制となり人数が減ったため、漁港内清掃は漁師も参加し、大人数で取り組んでいる。



川口委員【サロマ湖】

- コロナ禍で活動を制限しているが、組合のサケマス定置船の乗組員たちと漁港清掃を行った。
- 海業に関しては、漁協で水産物直売や、地域のイベント協賛やふるさと納税返礼品でホタテガイを出している。



太田委員【遠別】

- コロナ禍でイベント参加は自粛しているが、清掃活動、小学校等への出前授業は継続実施している。
- 海業に関して、ふるさと納税返礼品のミズダコの荷造り等を行っている。道の駅での鮮魚販売も実施。



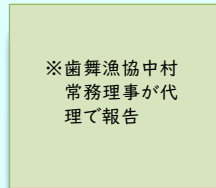
佐野委員【雄武】

- 生活クラブ消費地交流会は、コロナ禍でここ数年中止している。生活クラブでは販売商品の安全・安心に対する意識が高く、衛生管理された雄武のホタテガイは好評。



北川委員【室蘭】

- コロナ禍で活動を制限しているが、高校での料理教室、植樹活動、海浜清掃を継続実施している。
- 海業に関して、漁協主体で地元のイベントに積極的に出店している。女性部も今後参加し、料理等提供したい。



欠席【歯舞】

- 3年ぶりに「根室さんま祭り」が開催され、女性部により『さんまの刀汁』が提供された。
- 海業に関しては、漁協の海業支援施設で新たに水産加工品の販売を開始。今後は渚泊推進により集客増を目指す。



松本委員
【登別・白老(虎杖浜)】

- コロナ禍で活動できていない。状況を見て、マツカワガレイ等を使用した地元中学校・高校での料理教室を実施したい。
- 海業に関して、地元のショッピングセンターで鮮魚販売を実施した。



川村委員【大津】

- コロナ禍で縮小しつつも、漁港内清掃や町内のイベント、産業まつりは実施され、参加協力した。秋サケ直販も実施できた。
- 海業に関しては、女性部による直販、大漁まつりでの協力を予定している。

WEB 会議の様子

フリートーク（海業振興について／活動に関する問題点・課題／その他）

歯舞漁協新施設に関する講演や海業についての話題提供に関する質問や感想、また、各地域で活動に取り組む上での問題点や課題について、フリートーク形式でお話いただきましたので、一部ご紹介いたします。

<女性部が活動できる施設について>

- イベントの際、料理を仕込む場所がなく、居酒屋のスペースを借りている。(高野委員【三石】)
- イベント時に料理を作りたいが適した施設がない。色々やってみようというはあるが、そこでつまづいてしまう。(北川委員【室蘭】)
- ◆今後、地域マリンビジョンを改訂する際に、是非地域で相談していただきたい。マリンビジョンに含めて地域で一緒に実現していくことを目指してほしい。(片石委員長)



<女性部員数の減少・高齢化について>

- 部員の高齢化が進んでおり、料理教室などに参加できる部員が限られていて、負担が大きい。漁の合間に参加するので日程調整にも苦慮している。(北川委員【室蘭】)
- 部員数の減少が問題。今まで中心となって活動していた部員たちが引退したが、その後を継ぐ人が入ってこない。家庭の仕事（漁、家事等）と女性部活動の両立が難しい。(川口委員【サロマ湖】)
- ◆部員数の減少・高齢化は色々な地域で問題になっている。どう対策していくかは常にマリンビジョンの主要なテーマの一つである。(片石委員長)

<加工についての悩み>

- 部員数の減少・高齢化により、飯寿司づくりの工程で塩蔵されたアキアジを三枚におろす作業が大変。塩蔵に適した機械があれば教えてほしい。(川村委員【大津】)
- 一度市町に相談を。調べたり見学すること自体が女性部活動になる。(歯舞漁協中村常務理事)
- 飯寿司教室を開催している漁協女性部がある。女性部が材料を用意して作り方を教えて、参加者は作った飯寿司を持ち帰ることができる。自分達で作らずに教えるという手もある。(高野委員【三石】)
- ◆自分たちで全部やるのは難しくても、地域の人を誘って一緒にやることは可能かもしれない。人手不足の中でどう工夫し、協力してやっていくのか、これもマリンビジョンの大事なテーマだと思う。(片石委員長)



片石委員長

<今後のマリンビジョン改訂に向けて、女性部としてやりたいこと、改善したいことなど>

- イベント時の調理スペースは必要。(高野委員【三石】)
- コンブの根を肥料に活用したいが、地域の中で情報がオープンにならず、話し合いも進まない。(高野委員【三石】)
- 時期によって値段がつかない魚について、販売方法を考えたい。(北川委員【室蘭】)
- 地域の農協と共同でレシピを作りたい。(川口委員【サロマ湖】)
- ◆女性部も地域の将来構想策定に参画して意見を述べる機会をこれから作るべき。その意見を新しいビジョンに反映させていきたい。(片石委員長)

<全体を通しての感想>（濱田委員）

- ◆海業は、マリンビジョンでこれまでやっていることをやっていけば十分。自信を持って頑張ってください。
- ◆女性部の活動は昔と違って、色々な家庭や事情があり、生活時間帯も違う中で一緒になってやっていくことは非常に大変である。浜の通信環境が整備されたら、地元の中でもオンラインでコミュニケーションを図ることが可能。そういう時代に向けて意識づくりが必要。



濱田委員

<主催者より>

- ◆各委員の発言から、女性部員の高齢化や減少、未利用魚の活用方法など、様々な視点から問題意識を持っていることがわかり、大変参考になった。(的野課長)
- ◆「海業」は所得増や雇用増を目指すものだが、そこに直接結びつかなくてもこれまでのマリンビジョンの取り組みはまさに「海業」であり、日本で最先端の取り組みだと思っているので、これからも積極的に取り組んでいきたい。(的野課長)
- ◆コロナ禍で2、3年活動が制限される中、部員の高齢化や部員数の減少も重なると、イベントのやり方などノウハウの伝承が難しくなってくる。コロナ禍前のような活動を再開するには大変なエネルギーが必要になると思うが、イベントを楽しみにしている子供たちやお客様のために是非頑張ってもらいたい。(細井部長)
- ◆現在、マリンビジョンの改訂を進めており、10年後の漁港の姿を見越して計画を作っている。10年後、今の若い人たちに明るい未来を見せてあげる、繋いであげることが大事だと思う。是非そういった視点からも検討してほしい。(細井部長)

会議翌日は、「海業」に関する先進的な取り組みを実施している歯舞漁業協同組合へ行き、今年供用開始した歯舞漁港人工地盤や歯舞漁協新施設を視察しました。

参加者は歯舞漁港人工地盤に集合し、はじめに歯舞漁業協同組合中村直樹常務理事よりパンフレットを用いて施設の概要を説明していただきました。その後は中村常務理事の案内により施設を見学し、組合職員食堂で昼食、最後は記念撮影をして解散となりました。

現地視察の概要

日 時	令和4年10月26日(水)
視察内容	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の概要説明（歯舞漁協中村常務理事） ○現地視察 一般見学スペース⇒セリ場⇒荷捌室⇒マリンバンク⇒海業支援施設(直販施設、開発研究室、空調管理倉庫、製品倉庫)⇒組合長室⇒役員会議室⇒防災施設(防災一時待機室、非常用電源施設)⇒屋上(緊急一時避難場所) ○北方領土と貝殻島昆布に関する説明（歯舞漁協中村常務理事） ○昼食 ～解散～ ※一部参加者：瑤瑤瑠地区、納沙布岬、温根元地区（ウニ種苗生産センター）視察



歯舞漁協新施設・人工地盤施設 全景



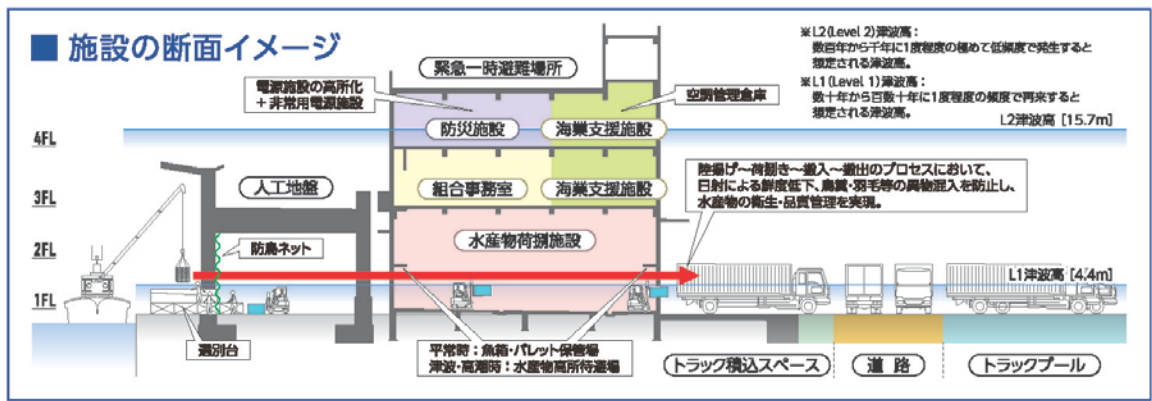
施設の概要説明（歯舞漁協中村常務理事）

高度な衛生管理と防災・減災、海業支援等の機能が一体となった複合施設

本施設は、密閉型の高度衛生管理型市場、災害時の一時避難施設、歯舞産のブランド水産物をPRするための海業支援施設が一体的に整備され、地域の水産物生産・流通拠点としてのシンボリックな施設です。

また、人工地盤2階からは水産物の陸揚げ状況を見学できるほか、施設内には産地市場やセリ場、昆布製品加工施設等が見学できるスペースも設けており、地域住民や観光客にも親しまれる施設を目指しています。

さらに、地域マリンビジョンで取り組んでいる本土最東端のパノラマクルーズや漁業体験、渚泊等の拠点として、都市漁村交流の更なる推進を目指していきます。



(歯舞漁協新施設パンフレットより)

【水産物荷捌施設】 密閉型の高度衛生管理型市場と人工地盤の整備により、安全・安心な水産物の安定的な供給を実現し、歯舞水産物のブランド力を更に高めます。一般見学スペースからはセリ場や荷捌室の様子を見ることが出来ます。



一般見学スペース



荷捌室



荷捌室

【海業支援施設】 函舞漁協では、おさかな祭り等のイベント開催、パノラマクルーズ、渚泊等、都市漁村交流を通じた地域活性化に積極的に取り組んでいます。直販施設と昆布加工場、倉庫を一体化し、更にイベント時に女性部が利用する調理室も設けて、都市漁村交流の更なる推進を目指します。



開発店舗



開発研究室



空調管理倉庫

【防災施設】 津波・高潮が発生した時には、防災監視室で災害情報をリアルタイムで把握し、漁業者や来訪者が人工地盤を活用して背後の高台にいち早く避難できるよう整備しています。防災一時待機室には非常用電源が完備され、停電しても防災施設や製氷施設にも給電することが可能です。



防災一時待機室



非常用電源施設



緊急一時避難場所（屋上）

【その他】

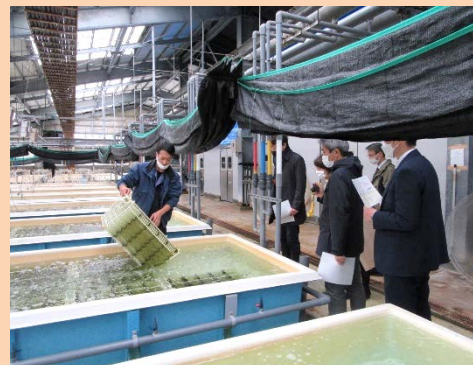
組合職員食堂にて昼食



北方領土と貝殻島昆布に関する説明
(函舞漁協中村常務理事)



漁協新施設前で記念撮影



ウニ種苗生産センター

＜委員並びにオブザーバーの皆様へ＞

お忙しい中、本会議にご出席いただきありがとうございました。会議についてのご質問やご意見がございましたら、下記の事務局までお気軽にご連絡ください。

＜函舞漁業協同組合及び関係者の皆様へ＞

現地視察の実施にあたり、資料のご準備、施設のご案内、昼食のご準備等で多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございました。お陰様で有意義な現地視察となりました。改めて感謝申し上げます。

連絡先



マリビジョン女性交流会議事務局

〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 北海道開発局農業水産部水産課

TEL：011-709-2311（内線5579）漁港漁村係まで

FAX：011-709-5026

E-mail: suisan01@mlit.go.jp